

## 「台湾大学スプリングスクールプログラム参加報告書」

京都大学経営管理大学院修士1年 白 濬鉉(ベク ジュン ヒョン)

私が今回のプログラムに参加した理由は、台湾について理解を深めることであった。今の時代をグローバル時代だという。真のグローバル化とは、互いが互いの文化を、歴史を、社会を理解するところから始まると私は思う。私自身韓国からの留学生で、日本で留学をしている今も勉強だけではなく、日本の文化、歴史、社会について理解を深めることを常に念頭において留学生活を送っている。今回のプログラムは3週間という短い期間であったが、内容的には非常に充実したプログラムであった。毎日午前中の中国語教育と共に午後は台湾の文化についての講義とField Trip、週末のOne-day Trip、最後の成果発表等盛り山の内容で、すべての授業と活動が台湾の文化、歴史、社会を理解するにおいて大変役に立つものであった。午前の集中的な中国語クラスでは、中国語だけではなく、時事話題に関するプレゼンテーションを通じて台湾の社会に対する理解が深まった。また、中国語においても台湾と中国の差異を理解する機会となった。授業以外の活動においては、台湾の学生や一般の人との出会いを通じて、台湾の人々の考え方や日本、韓国、中国に対する台湾の人々の見方を垣間見ることができた。私自身今まで短くない海外経験をしてきたが、今回のように学生の立場での経験は多くなく、今回のプログラムは私自身にとっては非常に新鮮で貴重な経験となった。

正式なプログラムの他に、京都大学を退職され台湾大学で教鞭をとっている辻本雅史先生からの台湾と日本の歴史に関してのお話、また京都大学で留学をし台湾大学で教鞭をとっている呂佳蓉先生の言語学の授業に参加し現地の学生と交流できたことは有意義な経験であり、京都大学一員として、プライドと刺激を感じる機会となった。私が在籍する経営管理大学院には、国立台湾大学 MBA とのダブルディグリープログラムがあり、毎年台湾大学から学生が訪れている。私自身も今回の経験を機に台湾大学への留学を前向きに考えたいと思っている。また、4月に台湾から経営管理大学院に訪れる留学生との交流を深めたいと強く思っている。今回の2016年国立台湾大学スプリングスクールプログラムに参加できたことは、私自身にとって大変有意義で貴重な経験となった。このような機会を与えてくれた学校側に感謝の意を表したい。

通过在台大的三周学习生活,我提高了中文水平,也更深入了解了台湾的文化。作为交换生,语言知识的交流只是一种学习,对语言及当地生活中所观察出来的当地文化的理解才是一种对个人的升华。既然幸运的交换到了台湾,自然而然的就要感受一下属于台湾的气息和风土文化。匆匆忙忙的台大校区,挤挤攘攘的商圈夜市,凝聚了中华文化瑰宝的故宫,恬静安逸的田间风光。这些都是台湾的珍宝,也构成了台湾独一无二的特色。短短三周,体验的虽多,但未完成的遗憾也很多。愿以后有机会能再次亲身感受台湾的风土人情。